



映画「バオバブの記憶」より

MOVIE

バオバブとともに生きる
サバンナの村の風物詩

「バオバブの記憶」

アフリカに生える奇妙な姿をしたバオバブは、サンテグジュペリの『星の王子さま』では星を壊してしまうと描かれている。しかし、サバンナに暮らす人々には、実も葉も樹皮も生活に役立つありがたい木だ。樹齢を重ねた大木は精霊が宿る聖なる木としてあがめられている。セネガルの首都ダカールから車で2時間のトゥーバ・トゥール村は開発をまだ知らず、バオバブと人が共生している。本作はバオバブと村の少年を中心に、サバンナの人々の暮らしを1年を通して温かい目で丁寧に記録した風物詩。(文=高倍宣義)

2009年/日本/102分

監督:本橋成一

撮影:一之瀬正史

音楽:トベタ・バジュン

語り:橋爪功

公開:3月14日から東京・シアター・イメージフォーラム、ボレボレ東中野にて

EVENT

JICA地球ひろば セミナー

「インド洋大津波によって被災したアチェの復興支援の事例から共に考えよう！」

2004年に発生し、20万人以上の犠牲者を出したスマトラ沖大地震・インド洋津波災害。セミナーでは、被災地インドネシアのアチェの人々の生活再建を支援してきたJICAの取り組みを事例に、人間の安全保障の実現に向けたアイデアなどを意見交換する。シリーズ「人間の安全保障の実践を考えるセミナー」の第6回。

日時:3月27日(金) 18時半~20時

会場: JICA地球ひろば (東京都渋谷区)

問: JICA地球ひろば

TEL: 0120-767278

URL: <http://www.jica.go.jp/hiroba/>

「へそ曲がりと言われるかもしれないが、逆や斜めの視点こそがホンモノの国際人には必要だと思う」。著者は元日本経済新聞の記者。ブラジル・サンパウロ特派員時代に、逆さまの地球儀で世界を眺めるようになってから、先進国と開発途上国の経済格差を意味する南北問題とはまったく別の「南北問題」に気付いたという。この本には、逆さまの世界を知ったときの驚きや、南から見た新鮮な世界がエピソードを交えてつづられているほか、随所に真の国際人になるためのヒントがちりばめられている。学校では教えてくれない「裏読みの国際関係論」が学べる本書を手に、複眼思考の旅に出掛けてみては。

和田昌親著/日本経済新聞出版社/1995円(税込)

BOOK

『逆さまの地球儀 複眼思考の旅』



この本を
プレゼント!
詳細は34
ページへ

新着情報

イチオシ!

EVENT

野町和嘉写真展「聖地巡礼」

土門拳賞などを受賞した野町和嘉氏は、約35年、過酷な自然と調和しながら受け継がれてきた伝統文化をテーマに「大地と祈り」を撮り続けてきた写真家。世界で初めて、イスラム教徒の聖地「メッカ」も取材している。本展では、最新作のガンジスとアンデスを中心に、代表作のアフリカ、エチオピア黙示録、メッカなど約150点を展示。

会期:3月28日(土)~5月17日(日) (月曜休館)

会場: 東京都写真美術館 (東京都目黒区)

料金: 一般800円、学生700円、中高生・65歳以上600円

問: 東京都写真美術館

TEL: 03-3280-0099

URL: <http://www.syabi.com/details/nomachi.html>

BOOK

『国際協力専門員』

技術と人々を結ぶファシリテーターたちの軌跡。国際協力専門員は、JICAが世界各地で展開する技術協力を専門的な立場から遂行する専門家集団。現在、約90人がJICAに在籍し、海外と日本を行き来しながら事業の企画・実施やそれに対するアドバイスをなどを行っている。本書は、農村開発や地方電化、感染症対策など12人の専門員が、経験談をもとに各分野の課題や支援のあり方をまとめたもの。彼らの素顔や国際協力にかける熱い思いも垣間見えてくる。国際協力の仕事を指す人にオススメの一冊。

林俊行編/新評論/2940円(税込)



この本を
プレゼント!
詳細は34
ページへ